

製品名: ベクリン-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab07529

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、その他
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	BECN1 GT197
別名	beclin 1, autophagy related
遺伝子 ID	8678.0
SwissProt ID	Q14457
免疫原	ベクリン-1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 110-190

背景

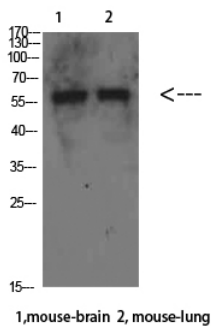
ベクリン 1 (BECN1) ホモサピエンス この遺伝子は、飢餓によって引き起こされる分解過程であるオートファジーを制御するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、小胞輸送過程を媒介するホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ

(PI3K) 複合体の構成要素です。このタンパク質は、腫瘍形成、神経変性、アポトーシスなど、複数の細胞プロセスにおいて役割を果たすと考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015年9月]、機能: オートファジーにおいて中心的な役割を果たす (類似性による)。抗ウイルス宿主防御において役割を果たす可能性がある。神経毒性を持つシンドビスウイルス株による感染を防御する。類似性: ベクリンファミリーに属する。細胞内局在: 小脳プルキンエ細胞の樹状突起および細胞体に発現する。サブユニット: GOPC および GRID2 と相互作用する。AMBRA1 と相互作用する。おそらく AMBRA1 および PIK3C3 と複合体を形成する (類似性に基づく)。BCL2 および BCL2L1 と相互作用する。組織特異性: 普遍的。

研究分野

オートファジーの調節;

画像データ



1:500 に希釈した Beclin-1 ポリクローナル抗体を用いたマウス脳およびマウス肺細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。